

堀切地区 まちづくりニュース

第11号 平成23年2月

発行：堀切地区まちづくり推進協議会

住民と関係主体が協力して、堀切地区のまちづくりを進めていくために…
推進協議会から国などへ、まちづくりへの協力を要請しています！

平成22年11月8日

荒川橋梁架替事業に係る「環境影響評価調査計画書」の内容に対し「意見書」を提出！

「環境影響評価調査」とは、大規模な事業の実施において、周辺の環境に適正な配慮がなされるよう、事業が環境に与える影響（騒音・振動、水質汚濁、生態系等）を事前に予測・評価する調査です。

10月に架替事業を実施するための環境影響評価調査の「計画書」が公表されたため、東京都環境影響評価条例の手続きに基づき、推進協議会から「意見書」を提出しました。概要は以下の通りです。

1. 京成本線の荒川部分から堀切菖蒲園駅までを全面的に高架化した場合の周囲への騒音・振動や日影、景観等の影響についても調査して欲しい
2. 駅前のガード部分の鉄道騒音・振動の現状と改善の必要性についても調査して欲しい
3. 現況の盛土構造と事業後の高架、擁壁構造、それぞれの景観について調査して欲しい

平成22年11月30日

堀切のまちづくりと連携した 荒川橋梁架替事業の実施を協力要請！

～「国土交通省・関東地方整備局・荒川下流河川事務所」を訪問

推進協議会では、架替事業によって鉄道の土盛りが高架化されれば、南北地域の分断が解消され、地域の防災性の向上や活性化が促進されると考えています。

そこで、架替事業を実施する国交省荒川下流河川事務所を訪問して「堀切地区まちづくり構想」を説明し、架替事業についても堀切地区のまちづくりと連動したものとなるよう、協力と配慮を要請しました。



平成22年12月20日

住民主体で進める堀切のまちづくりへの 理解と今後の支援を協力要請！

～「地元選出区議会議員」へ「堀切地区まちづくり構想」を説明・意見交換

推進協議会では、今年度から、防災部会、活性化部会、（仮）鉄道高架化推進部会の3部会が、具体的なまちづくり方策の検討を始めています。

そこで、区政運営を担う区議会議員の方々に私たちが取り組んでいるまちづくりを理解していただき、まちづくりの各段階において適切な支援をいただくため、「堀切地区まちづくり構想」の説明と意見交換を行い、改めて協力を要請しました。



堀切地区まちづくり推進協議会・各部会の取り組み紹介

ここでは、推進協議会の3部会それぞれの活動について、紹介します。

各部会の取り組み

防災まちづくり検討部会

■ 専門的な見地から地区の防災性を把握する「広域調査」を実施中

堀切地区の防災特性に合わせて、効果的に防災まちづくりを進めるために、現在、専門的見地から堀切地区の防災性を調査する「広域調査」を行っています。

■ 二丁目地区の防災まちづくり計画の検討開始！

防災部会では、防災性の向上が急務である二丁目地区を対象に「密集事業」や「地区計画」を導入するため、その導入に必要な「防災まちづくり計画」の作成を開始しました。密集事業とは、防災道路や公園等の整備を行うための国の補助事業です。

防災まちづくり計画については、「広域調査」の成果をもとに、防災道路をどこにどのように整備するのか、公園整備や災害に強い建物づくりが特に必要な地区はどこか、といったことを検討しています。

■ 区内の防災まちづくり先進地の視察の実施

既に密集事業を導入し、防災まちづくりに取り組む「四つ木1・2丁目地区」「東四つ木地区」へ視察に行き、整備の状況を見学した後、地元町会の方々と意見交換をしてきました。



地元町会の方から苦労話を聞く



まもなく整備が完了する幅員6mの主要生活道路（東四つ木地区）

活性化まちづくり検討部会

■ 菖蒲まついを目標に、堀切のまちのマップづくりに奮闘中

活性化部会では、堀切地域の活性化に向けたモデルプロジェクトの実践に取り組んでいます。プロジェクト第1号は、堀切のまちのマップづくりです。

堀切のまちは、折れ曲がった道路や細い路地が多く、「呼び名」のある通りも少ないなど、まちがわかりにくい印象があります。商店街や緑道（水路跡）など、堀切の特徴になりやすいもの、まちの目印を探しながら、堀切のまちをわかりやすくするマップを検討中です。

作成したマップは、今度の菖蒲まつりで配布し、活用していきます。



大きな地図を囲み、まちの目印を確認中（第2回活性化部会）

■ 商店街活性化の先進地見学会を企画

堀切の地域活性化の参考となるため、商店街活性化の先進地見学会を企画しています。

品川区の戸越銀座銀六商店会、中延商店会の2箇所を訪問し、現地の方との意見交換を行う予定です。



(仮称)鉄道高架化推進部会

■ 事業関係者に堀切地区のまちづくりへの協力を要請！

京成本線荒川橋梁架替事業に関しては、具体的な動きがしばらくありませんでしたが、**昨年**の9月3日と4日に国土交通省による説明会が開催され、10月には事業実施に向けた環境影響評価の調査計画が発表されました。

推進協議会では、現在の鉄道の土盛りを架替事業に伴い全面的に高架化することを望んできましたが、現状では駅寄りの土盛りの一部が擁壁となって残る計画となっています。そこで、事業実施にあたり堀切地区のまちづくりと連動した内容となるよう、環境影響評価の調査計画に対して「意見書」を提出しました。また、事業主体である国土交通省荒川下流河川事務所を訪問して「堀切地区まちづくり構想」を説明し、十分な理解と協力を要請してきました。

■ 京成沿線のまちづくりへの取り組みが今後の課題

京成本線荒川橋梁架替事業とまちづくりをうまく連動させるためには、堀切四丁目や駅周辺などの沿線地域のまちづくりの取り組みを具体化していくことが、今後の課題となりそうです。



堀切地区

まちづくり

メンバー大募集！！

今年度から、新たな体制で、まちづくりの具体化に向けた話し合いを進めています。そこで、一緒に取り組む地元住民の方々を募集しています！

次回の「堀切地区まちづくり推進協議会」は下記の通り開催します。今回は、今年どんなことに取り組んだのかについて、各部会から発表します。初めての方、最近、ご参加いただいていない方にもお勧めの内容です。

どんなことをやっているのか知りたい方は、まずは、ご参加ください！

ぜひ、ご参加ください！

第3回 堀切地区まちづくり推進協議会

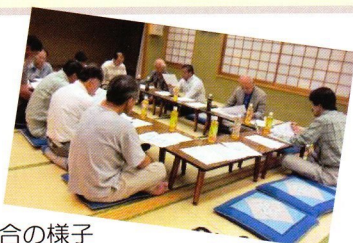
日時: **3月18日(金)** 午後7時～

会場: **堀切地区センター 3階多目的ホール(堀切3-8-5)**

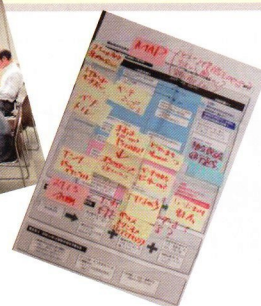
連絡先: **堀切地区まちづくり推進協議会事務局**

葛飾区都市整備部街づくり推進課(石田、小野田)

代表 03-3695-1111 (内線 2508)、直通 03-5654-8391



会合の様子



意見やアイデアをまとめて1つの成果をつくっていく様子

まちづくり先進地事例視察会を実施しました！

堀切地区まちづくり推進協議会全体で先進地事例視察会を実施しました。防災まちづくりの事例として大田区、再開発事業と商業活性化の事例として世田谷区の視察をしました。

☆ 視察のポイント 大田区編（大森中・蒲田・花谷地区）

- ・ 26団体＋公募住民という様々な参加者により地区計画が検討されている
- ・ 防災道路や防災公園などの整備・検討を行っている
- ・ 安全に暮らせるまちを将来の目標に掲げ、活動に取り組んでいる



防災道路として整備された道路



防災まちづくりの会との意見交換会



大田区によるまちの解説

☆ 視察のポイント 世田谷区編

（芦花公園駅前）

- ・ まちの身の丈にあわせた再開発を行った
- ・ 将来、駅の高架化を見据えた道路計画を行った
- ・ 段階的な工事を行うことで地権者が再開発地区内で仮移転ができた

（烏山商店街）

- ・ ポイントカードを早期に導入した商店街
- ・ ポイントの利用方法が多様であり、リピーターを生み出している



身の丈再開発を行った芦花公園駅前再開発



ポイントカードで一躍有名になった烏山商店街

☆ 参加者の感想

防災まちづくりに関して

- ・ 堀切と同様にこれから地区計画を導入する点が参考になった
- ・ 住民向けに広報活動やイベントを開催している点を見習いたい
- ・ 京急線高架下に駐輪場が整備されていた。堀切でも京成線高架下を活用できるとよい

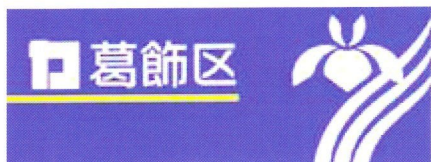
再開発に関して

- ・ 計画の検討主体が住民ではないため、堀切では活用できないと思う
- ・ 堀切でもまちの身の丈にあった再開発ができると良いと思う

商業活性化に関して

- ・ 地域密着型で、ゴミ等が落ちていなく、きれいな商店街であった
- ・ 堀切菖蒲園駅の乗降客を商店街に引き込むような工夫がしたい

～堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、下記にお願い致します～



堀切地区まちづくり推進協議会事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課（石田、小野田）
代表 03-3695-1111（内線 2508）
直通 03-5654-8391